

前回会合における主な意見

令和6年3月22日
事務局

論点整理案①について

- ネットワーク全体やエンド・トゥ・エンドで捉え、ミッションクリティカルなサービスに向けて、新しいBeyond 5Gシステムが必要になってくることは非常に共感を覚える。(小西構成員)
- **グローバル展開や社会実装等の取組を並行して、かつ相互連携させながら進めていく**という点や、それが全体として、論点整理案で整理された「**4つの視点**」の強化にどう貢献するのかを確認しながら進めるという点に大いに賛同で、それがリアリティーを持った普及につながると思う。オール光ネットワークの共通基盤技術については、**オールジャパンで進めるのと同時に、実際の国際的な環境や様々なプレーヤーとの関係を踏まえて取り組むことが重要であり、WGの議論に期待。**(宮田構成員)
- **利用者側の観点から見て必要な取組や枠組みを考えていくことで、革新的なインフラ技術の普及につながる。**例えばオール光ネットワークであれば、ネットワーク上の様々なデバイスやエンティティを利用者が使いやすくなるための**プラットフォームやOS、コンピューティングの領域**について、**標準化などの取組を後押ししていくことができれば、更に普及が進むのではないか。**(宮田構成員)
- 事務局からの説明は意欲的で、**技術戦略委員会として新しい取りまとめ方を目指している点が素晴らしい。**単に重点技術を取りまとめるということではなく、**仕組みや取り組み方の検討にもっとリソースを費やすことが重要**と思っており、論点整理案の方向感に大いに賛同。日本企業の海外進出だけでなく、**海外企業による日本への投資も重要**であり、そのためには**日本が魅力的な市場になる必要がある点**も含まれると良い。(森川構成員)
- Beyond 5G、オール光ネットワークを進めていく中で光電融合技術は非常に重要。光電融合の半導体開発も日本が率先していく必要があるが、半導体工場の建設ラッシュで今後実現される**半導体を大量に製造できる環境と、新しいタイプの半導体である光電融合が必要になるオール光ネットワークの技術開発やその事業の拡大が、有機的に統合されるような点**が含まれると良い。(長内構成員)
- AIを支えるネットワークとしてのBeyond 5Gを考える上で、**センサー網としてのネットワークという視点も重要。**また、**Beyond 5Gでつくり上げていく世界は、経済安全保障だけでなく、国家安全保障の視点も併せて必要。**(山田構成員)
- **今後、インターネットを使って非常に高いレベルのサービスを個人が享受できる社会になった時に、そのコスト負担も、公共インフラである電気・ガス・水道等と同様に非常に密接な問題になることを国民に理解してもらえらるような説明や広報が必要。**(増田構成員)
- 電気通信事業政策部会通信政策特別委員会でユニバーサルサービスの在り方に関する検討を行っているが、ミニマムとして**国民全体がコスト負担して提供する必要のあるサービスのレベルと、自分たちでお金を回して産業界が自立して進めていくサービスとの線引きを今後どうするか**については、これからも議論が必要。(相田主査)